

# 安全にお使いいただくために

## ダイヤモンドドレッサ

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前にこのダイヤモンドドレッサ（以下、ドレッサという。）の取扱説明書と使用機械の取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになった後は、お使い頂く方に十分な説明とお使いいただく方がいつでも見られるところに必ず掲示保管してください。取扱いを誤ると事故やけがの恐れがあります。

### 警告表示の意味

「取扱い説明書」および「安全上のご注意」では、取扱いを誤った場合に想定される危険や傷害の程度により、警告表示を次のように表示しています。

-  **警告** この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
-  **注意** この表示の注意事項を守らないと、使用者が軽傷を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

#### 行為を禁止する記号

-  禁止
-  接触禁止

#### 行為を指示する記号

-  厳守
-  メガネ着用
-  安全靴着用
-  帽子着用
-  マスク着用
-  耳せん着用
-  プラグを抜く

## 1. 作業環境、服装、保護具

### 警告

-  使用機械メーカー指定の工具カバーを必ず正しく取り付けてください。使用機械の周辺には関係者以外立ち入らないでください。
-  特に砥石の回転方向、使用機械のテーブル等、機械の移動範囲には立ち入らないでください。
-  ドレッサは使用中に火花を発生することがあります。引火や爆発の恐れのある場所では使用禁止。



作業者は、防塵メガネ、安全靴、保護帽の保護具を着用し、裾と袖口のしまっている作業着を着用してください。



作業者は、防塵マスク、耳栓の保護具を必ず着用してください。空気中に漂う粉塵を除去し、換気をよく行ってください。

## 2. 使用前

### 警告

- 最高切り込み量は、0.04mm以上では使用しないでください。  
大量に砥石表面を修正する場合でも必ず数回に分けてドレッシングしてください。

### 注意

- 最高送り量は、500mm/min以上では使用しないでください。
- ドレッサの軸寸法が、使用機械の取り付け寸法に適合しているか点検してください。
- ドレッサを保護している保護材を除去してください。  
取り外した保護材はケースに保管してください。
- ドレッサに、割れ、ヒビ、欠け、台金との接合不良等がないかを点検してください。
- 使用機械のドレッサ取り付け部を清掃してください。

## 3. 工具の取り付け

### 警告

- ドレッサはホルダーに正しく確実、強固に締め付けてください。  
使用中の振動でゆるみ、ドレッサや砥石が破損して、飛散し大けがの恐れがあります。
- ドレッサの取り付け部に、傷、異物がないかを点検してください。
- 使用取り付け角度は、砥石の中心線に対し、10～15° 負角にしてください。  
砥石側面に対する傾きは20～30° 以内にしてください。
- ドレッサの軸は必要な長さ以上は出さないでください。
- ドレッサの形状を変えるような加工はしないでください。  
必要な場合は弊社にご相談ください。

## 4. 試運転

### 警告

- 研削砥石が確実に取り付けられているか、を点検してください。
- ドレッサが確実に取り付けられているか、を点検してください。

## ⚠ 注意

- ❗ 研削液が砥石とドレッサの接触面にかかっているか、点検してください。
- ❗ 取り付け角度が正しいかを点検してください。
- ❗ 送り、切り込み量、サイクルタイム等が正しく設定通り作動しているかを確認してください。過負荷状態で使用しないでください。

## 5. 修正作業

### ⚠ 警告

- ❌ ドレッサを研削砥石に接触させたまま、砥石主軸のスイッチを「入」に絶対にしないでください。
- ❌ 側面からいきなり切り込まないでください。切り込んだ状態で使用すると、ドレッサあるいは砥石が破損し飛散して、大けがをする恐れがあります。
- ❌ 回転中の砥石には絶対に手を触れないでください。回転中に接触、あるいは巻き込まれると、大けがをする恐れがあります。
- ❗ 異常音、異常振動が発生したら、ただちにドレッサを逃がした後、全停止してください。そのままの状態で使用すると、ドレッサや研削砥石が破損し飛散して、大けがをする恐れがあります。
- ❗ 修正作業終了後は研削液を振り切ってから砥石の主軸回転スイッチを「切」にしてください。
- ❗ 砥石に手を触れたり、何か物を押し付けることをせずに、自然に停止するまで待ってください。

## ⚠ 注意

- ❗ ドレッサの作用面が大きくなったら使用しないでください。そのままの状態で使用すると破損して飛散し、けがをする恐れがあります。

## 6. 保管、取扱い

### ⚠ 注意

- ❗ ドレッサの作用面を観察し、異常摩耗、脱落、割れ、欠け、ヒビ等が生じていないかを点検してください。
- ❗ ドレッサを取り外して保管する場合は、使用部を保護して落下や衝撃の加わることのない乾燥した場所に、きちんと保管してください。
- ❌ ドレッサの形状を変えるような加工はしないでください。必要な場合には弊社にご相談ください。